

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 1 区分

【発行日】平成 18 年 1 月 5 日 (2006.1.5)

【公表番号】特表 2005-501539 (P2005-501539A)

【公表日】平成 17 年 1 月 20 日 (2005.1.20)

【年通号数】公開・登録公報 2005-003

【出願番号】特願 2003-524344 (P2003-524344)

【国際特許分類】

A 0 1 K 13/00 (2006.01)

A 0 1 M 1/20 (2006.01)

A 0 1 M 29/00 (2006.01)

【F I】

A 0 1 K 13/00 C

A 0 1 M 1/20 A

A 0 1 M 29/00 R

【手続補正書】

【提出日】平成 17 年 8 月 23 日 (2005.8.23)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

クマホスおよびダイアジノンの混合物、ポリ塩化ビニル並びに可塑剤から形成された成形品を含み、約 4 ヶ月までの期間で虫制御剤を有効に放出する、動物に取り付けるための虫制御装置。

【請求項 2】

クマホスおよびダイアジノンが、装置総量の約 10 ～ 約 60 質量 % の量で存在する請求項 1 に記載の装置。

【請求項 3】

成形品が、耳のタグの形態である請求項 1 または 2 に記載の装置。

【請求項 4】

クマホスが、装置総量の約 3 ～ 約 30 質量 % の量で存在する請求項 2 に記載の装置。

【請求項 5】

ダイアジノンが、装置総量の約 10 ～ 約 30 質量 % の量で存在する請求項 2 に記載の装置。

【請求項 6】

クマホスが装置総量の約 3 ～ 約 30 質量 % の量で存在し、ダイアジノンが約 10 ～ 約 30 質量 % の量で存在し、ポリ塩化ビニルが約 30 ～ 約 70 質量 % の量で存在し、可塑剤が 0 ～ 約 30 質量 % で存在する請求項 1 に記載の装置。

【請求項 7】

成形品が、耳のタグの形態である請求項 6 に記載の装置。